

決	議長	局長	参事	次長	主幹	副主幹	書記
裁		谷					

別記様式

令和 元年 8月 27日

養父市議会議長 様

養父市議会議員 谷 垣 満



研修成果報告書

養父市議会議員研修要項第7条の規定により、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 研修日時 令和 元年 7月 31日 (金) 13:00~16:00
- 2 研修先 大阪市・大阪富国生命ビル 会議室
- 3 研修目的 自治体向け ICT 推進セミナー受講のため
- 4 成果 (具体的に)

多くの自治体・議会に導入実績をもつペーパーレス議会システム「SideBooks」の東京インタープレイ(株)と、ハード斡旋企業であるソフトバンク(株)の担当者から導入事例を聞きタブレットの試用を行った。本システムは当局から提供される資料の集積・伝達・配布を電子化し、ペーパーレス化する議会内部の仕組みであった。

定例会の議案や予算決算書、条例や基本構想などをクラウド上で管理・集積し、議員個々のパソコン・タブレットで閲覧できる仕組みの「クラウド本棚」は初期設定料 80,000 円 (オプションの利用者講習会と管理者講習会は各 80,000 円+交通費) と月額基本料 2,000 円で導入可能だが、端末であるタブレットを議員に配布する場合、1 台当たり約 9,500 円/月額 (保守・通信料含む) 必要であり定員 16 人の養父市の場合、年間約 180 万円が固定費として必要になる。

暗号化されたクラウドシステムにより情報漏洩などの危険は少ないが、端末紛失の事案が発生している。議員個人所有の端末による運用も可能だが、セキュリティの厳格化や端末・通信料・保守料等が個人負担となり議員の公平・均衡性に課題が残る。一方、議会事務局職員の作業の軽減や検索による資料管理の優位性、また物理的な資料の省力化・縮減などのメリットも多くある。

今後のデジタル化は必須であり、通信技術を含め発展途上であるが費用対効果は向上傾向にある。改選期なども含めた適期を見据え、運用に向けた具体的な検討の必要性を感じた。

